

「いじめ重大事態発生時の調査等対応の手引き」の活用に関する調査結果

1 調査目的

「春日井市いじめ防止基本方針」による学校の組織的な対応にもかかわらず、いじめ重大事態が発生した場合には、迅速な調査による真相究明や、被害児童生徒や保護者への誠実な対応が必要となるため、全教職員が、重大事態の定義や対応について、日頃から正しく理解していることが求められる。

そのため、「いじめ重大事態発生時の調査等対応の手引き」（令和3年3月10日付け全校配付）について、各校で継続的に職員一人ひとりへの確実な周知が行われているか調査を行うことで、今後のいじめ重大事態発生時の対応に関する情報共有の推進に資することを目的とする。

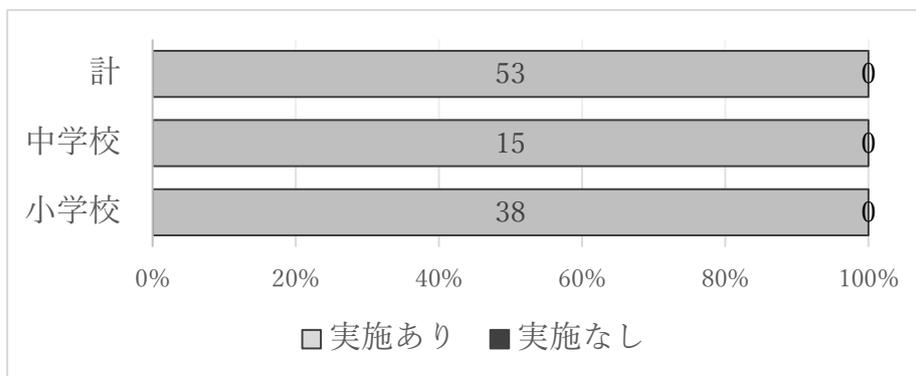
2 調査方法

- (1) 対象 中学校 15校（尾東中学校の回答は尾東小学校に含む）
小学校 38校
- (2) 調査日 令和3年10月1日
- (3) 方法 アンケート

3 調査項目及びその結果

(1)手引きの周知及びその周知方法について

ア 手引き配布時、全ての教職員に周知している

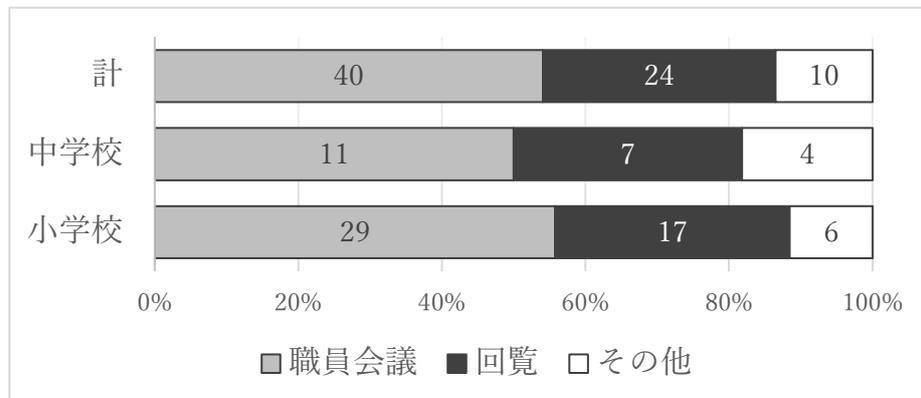


イ アの周知の方法（複数回答可）

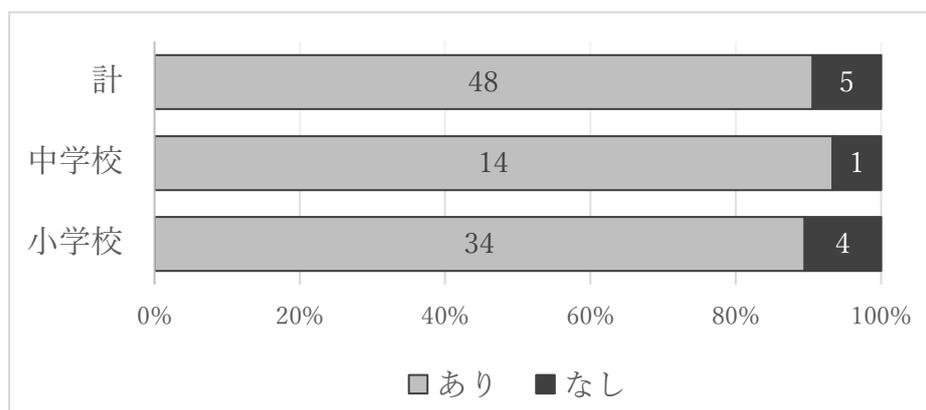
○職員会議で報告

○手引きを回覧

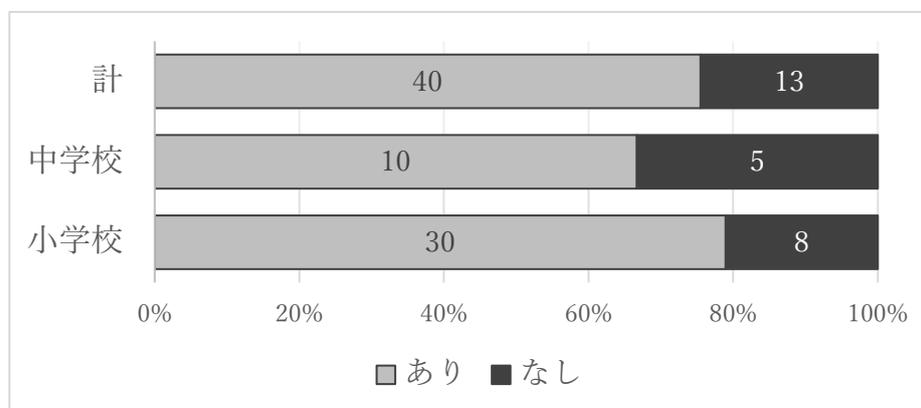
○その他



ウ 全ての教職員が手に取る(確認する)ことができる場所に保管している

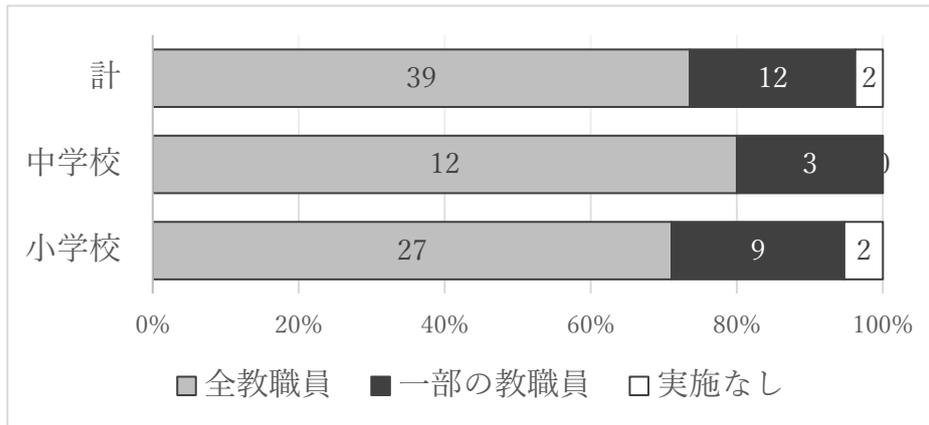


エ 全ての教職員に配付している(電子データ含む)



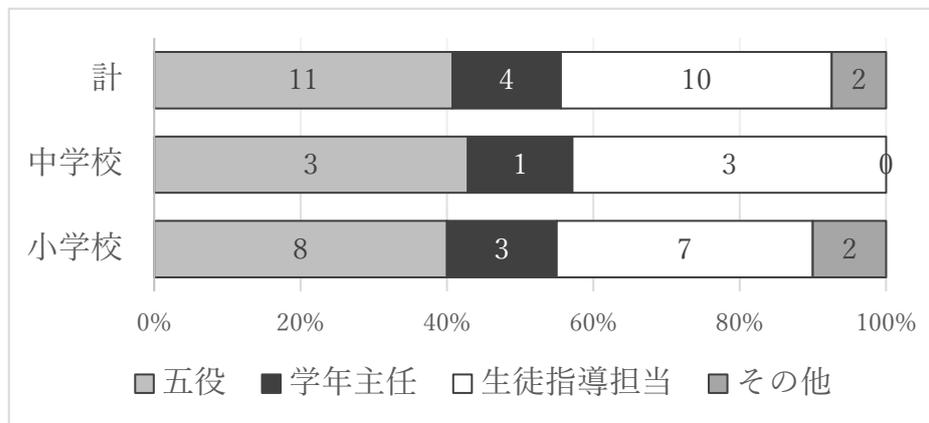
(2)手引きの内容等の情報共有が継続的に行われているかについて

ア 手引き配付時、教職員に内容等の共有の機会を作った

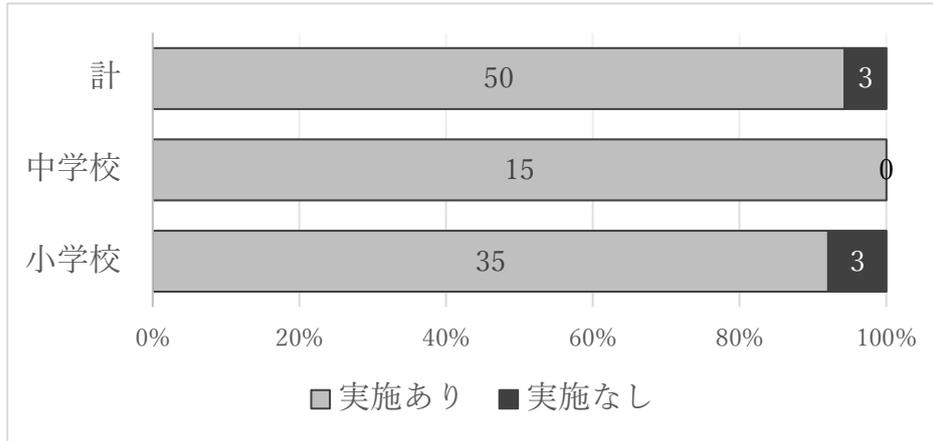


イ アの一部の教職員の内訳（複数回答可）

- 五役
- 学年主任
- 生徒指導担当
- その他



ウ 定期的に内容等の共有の機会を作っているか(予定含む)



エ ウの定期的な共有の機会の内容

- いじめ不登校対策委員会
- 校内現職研修会
- その他

